

グローバル・マーケット・アウトルック 2026年 資産クラス市場別見通し



マクロ経済および資産クラス別市場見通し

● ネガティブ ● ややネガティブ ● ニュートラル ● ややポジティブ ● ポジティブ

- **米国大型株式**
ファンダメンタルズは堅調な一方で、バリュエーションは割高な水準にあります。市場をけん引するセクターが多様化し、超大型株以外にも投資機会が台頭する見通しです。
- **米国小型株式**
堅調な経済成長と利下げを背景に、小型株有利な局面となる可能性が高いと見ています。
- **米国債**
国債利回りはフェアバリュー水準で推移しています。2026年に株式市場のボラティリティが上昇すれば、分散先として米国債を選好します。
- **米国社債**
投資適格債およびハイイールド債いずれもクレジット・スプレッドがタイトな水準であることから、社債のバリュエーションは割高であると考えます。
- **欧州株式**
欧州では、財政刺激策や企業のファンダメンタルズの改善が期待されることから、欧州株式は良好であると見ています。
- **英国株式**
英国の経済環境は引き続き低迷していますが、主要な悪材料は株式のバリュエーションに既に反映されていると見ています。
- **アジア太平洋地域の株式**
アジア太平洋地域の株式はバリュエーション面での魅力があり、企業収益の成長も堅調に推移すると見込まれます。韓国や中国におけるコーポレート・ガバナンスの改善はポジティブ要因ですが、中国経済の低迷が依然として主要なリスクとなっています。
- **新興国市場の株式**
先進国株式と比較してバリュエーションは引き続き魅力的な水準です。半導体関連投資から新興国市場は今後も恩恵を受ける可能性があると考えます。
- **不動産／インフラ**
REITとインフラ投資について、バリュエーションは適切な水準にあり、2026年を通じて良好な分散投資対象になると考えます。
- **米ドル**
米ドルは、バリュエーションの観点から引き続き割高であると考えます。米国経済の回復に伴い、通貨の循環的な性質を踏まえ、米ドルは軟調な展開となる公算が大きいと考えられます。
- **プライベート・エクイティ**
日本、アジア（中国を除く）、中東など非米国市場において、潜在的な投資機会が拡大すると見ています。セクター別では、防衛および防衛技術関連に注目しています。
- **プライベート・クレジット**
各種基準金利の上昇を背景に、担保付シニアローンおよび動産・債権担保融資(ABL)を選好します。欧州ダイレクト・レンディング戦略に魅力的な投資機会があると考えています。

本資料に記載された見解は2025年12月3日時点のものであり、将来の結果を保証するものではありません。詳細な開示事項については2ページをご参照ください。

IMPORTANT INFORMATION

本資料は情報提供のみを目的としており、投資助言、または証券、ファンド、運用戦略等の購入・売却の勧誘または提案を構成するものではありません。また、本資料に含まれる情報は、特定の投資家の投資目的や個別の状況を考慮したものではありません。本資料に記載された一般的な情報に基づいて行動を起こす際には、必ず有資格の専門家から投資助言を受けるようにしてください。

本資料に示されたいかなる意見の表明は、発行時点におけるラッセル・インベストメントの見解であり、善意に基づき提供されています。また、記載されたすべての意見は、予告なく変更される可能性があります。本資料に含まれる情報および意見に関して、ラッセル・インベストメントおよびその関係者は一切の責任を負いません。

すべての投資にはリスクが伴い、リターンが常に一定の割合で成長するとは限らず、元本割れを含むマイナス成長が生じる可能性があります。過去の運用実績は将来の成果を示唆・保証するものではありません。本資料に示されたいかなるシナリオは、過去のデータに基づき将来のパフォーマンスを推計したものであり、正確な予測指標ではありません。

株式投資の価値は、発行企業の活動、市場全体の状況、または経済情勢に応じて変動します。中小型株への投資は、通常、大企業に比べて市場規模が狭く、経営資源や財務基盤が限定的で、製品ラインの多様性も乏しいため、より高いリスクを伴う可能性があります。また、中小型株は流動性が低く、市場での売買が困難な場合もあります。

一般に、オルタナティブ投資には高いリスク（元本喪失の可能性を含む）が伴い、流動性が低く、他の投資に比べて報酬等が高く設定されていることがあります。ヘッジ戦略およびプライベート・キャピタル投資は、登録された投資商品とは異なり、規制要件の対象外となる場合があります。ヘッジ戦略ではレバレッジやその他の投機的手法が用いられることがあり、これにより損失リスクが高まる可能性があります。

債券投資においては、金利リスク、信用リスク、デフォルトリスク、デレーションリスクなどを十分に考慮する必要があります。ハイイールド債（「ジャンク債」）やモーゲージ担保証券に投資するポートフォリオでは、ボラティリティの増加、流動性の制限、繰上償還、支払い停止、デフォルトリスクの上昇など、より高いリスクが内在しています。特にサブプライム・モーゲージにエクスポージャーのあるモーゲージ担保証券には注意が必要です。

本資料は、EMEA（欧州・中東・アフリカ）地域においては、プロフェッショナル・クライアント（適格機関投資家）向けの内容です。

Copyright © 1995-2025 Russell Investments Group, LLC. All rights reserved.

2026 Global Market Outlook

CORP-12929